

2021 年度 帰国隊員/青年支援プロジェクト 実施報告書
(協力活動 / 調査・研究)

提出日：2023 年 1 月 4 日

氏名：谷中大翔

プロジェクト名称：ギグ・エコノミーによるギグワーカーへの影響の分析

実施国：インド、イギリス

実施期間：2021 年 9 月 1 日～2022 年 9 月 7 日

目次

調査・研究実施内容概要	3
調査・研究の結果・成果	5
期待された効果と実際の相違点	7
調査・研究成果の持続発展性	7
苦労した点、反省点、本活動を通じて得られたこと、学んだこと、教訓等	7
ご自身の今後のプラン、及び本活動の活用予定・計画	8

・**ギグ・エコノミー**：ギグ・エコノミーとは、プラットフォーム上で買い手と売り手をつなぐサービスが提供される経済圏である。

・**ギグ・ワーカー**：ギグ・ワーカーとは、デジタル・プラットフォームを介した経済圏で労働を提供している人々の総称のことである。

・**アマルティア・セン**：アマルティア・センはインド人経済学者であり、開発途上国の経済を調査する際に貧困・失業・健康・分配の不平等などを分析できる理論の構築に貢献している。

・**ケイパビリティアプローチ**：アマルティア・センによって、所得水準のみに焦点を当てた開発経済学や政策に蔓延していた貧困と開発に対する批判的な見方を通じて発展した。ケイパビリティアプローチでは経済的な影響にと止まらず、社会的、政治的な領域にまで焦点を当てて、ギグエコノミーの影響を分析することが可能である。

・**ケイパビリティフレームワーク**：マンチェスター大学のヒークス教授が情報通信技術を用いた開発プロジェクトを分析するために、センのケイパビリティアプローチを運用したフレームワークである。

調査・研究実施内容概要

ギグ・エコノミーは、情報通信技術（ICTs）の普及により、世界中で急速に広まっている。ギグ・エコノミーの急速な発展は、多くの研究者の関心を集めている。その結果、ギグ・エコノミーはコンピュータサイエンスや社会学など、さまざまな分野で研究されてきました。しかし、社会経済の発展を促すギグ・エコノミーへの期待は研究者や政策立案者の間で高まっているものの、開発の文脈におけるギグ・エコノミーに関する研究はあまり発達していない。そこで、開発に関する最も重要な理論的枠組みの一つであるセンのケイパビリティアプローチを用いて、ギグ・エコノミーが開発に与える影響を明らかにすることを目的として本研究を行なっている。本研究では、ケイパビリティアプローチに基づき、開発を個人の能力と機能の向上と定義し、ギグ・エコノミーがギグワーカーたちの能力と機能に与える影響を検証する。また、能力アプローチの運用については、経済的自由、政治的自由、社会的自由、情報的自由、安全保障の5つの自由から能力と機能を検討するためのケイパビリティフレームワークに依拠している(図1)。

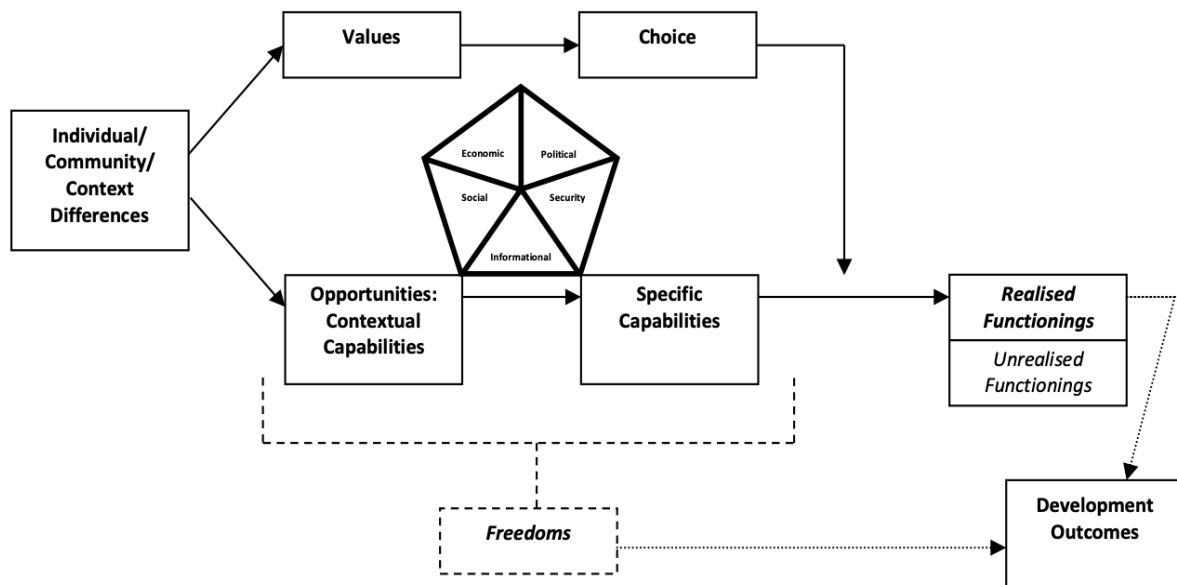


図1 ケイパビリティフレームワーク

上記のケイパビリティフレームワークをギグ・エコノミーの影響を分析に適したフレームワークにするために文献調査を行った。マンチェスター大学のグローバル開発研究所から入手できるギグ・エコノミーの学術文献や政府機関のレポートなどの二次情報を元に、上記のフレームワークをギグ・エコノミーのギグワーカーへの影響を評価するためのフレームワークの開発を行なった。二次情報によって得られたデータから8つの側面からギグワーカーへの影響を分析する必要があることがわかった。詳しくは下記を参照。

テーブル 1：ギグワーカーのためのケイパビリティフレームワーク

Type of freedoms	Functionings
Economic freedoms	Flexibility
	Decent living
Political freedoms	Associations
Social freedoms	Job skills
	Health
Informational freedoms	Information
Security freedoms	Inclusion
	Social protection

ギグ・エコノミーのギグワーカーへの影響を評価するための5つの自由を元にしたフレームワークを用いて、本研究では実際にこのフレームワークがギグ・エコノミーのギグワーカーへの影響を分析できているかを調べるために、ケーススタディとしてインドにて実証研究を行った。具体的にはデリーとコルカタにて運送サービスを提供する Uber と宅配サービスを提供する Zomato の計 24 人のギグワーカーに対して In-depth interview を行い、ギグ・エコノミーのギグワーカーへの影響、ギグワーカー労働状況が評価できているかを調査した。

得られた質的データを分析するために、質的データの分析に広く用いられているテーマ分析の1つであるテンプレート分析を適用している。テンプレート分析では、インタビューから収集された質的データによって整理されたコーディングテンプレートを作成する。本研究では階層的コーディングを適用し、最初は「ギグワーカーになることのメリットは何か？」といった広いテーマを問い、「ギグエコノミーが生活に与える影響は何か？」といった狭いテーマを理解していった。この分析によって、ケイパビリティフレームワークに不足している視点を明らかにした際は、その不足した点を補うようにフレームワークを随時更新している。

調査・研究の結果・成果

本研究では、ギグ・エコノミーのギグワーカーへの影響を評価するための5つの自由を元にしたフレームワークに基づいて、ギグエコノミーがギグワーカーの機能に与える影響について分析を行った。

経済的自由に関しては、柔軟性とディーセント・ライフに関連するギグワーカーの機能を分析した。柔軟性を評価すると、労働時間の柔軟性はギグワーカーにさらなる労働機会を提供することに寄与している。実際に Zomato で働くインタビュアーのうち3人はギグワーク以外に別の仕事をしていた。場所の柔軟性に関しては、Uber や Zomato では物理的にサービスを提供する必要があるため、オンラインで全て完結する Upwork や Freelancer のようなプラットフォームで働く人々に比べて、ギグワーカーの働く場所の柔軟性に大きな影響を与えてはいないことが明らかになった。

ディーセント・ライフに関しては、ギグ・エコノミーはギグワーカーたちの機能を向上させ、より良い生活を築くためにお金を稼ぎ、お金を貯めるための労働機会を拡大していることが明らかになった。お金を稼ぐという機能に関しては、ギグ・エコノミーは仕事の機会を改善している。特に、ライドヘイリングやフードデリバリーのプラットフォームの場合、地方よりも大都市圏の方が需要が高く、都市部移住してきた人々に仕事の機会を提供している。お金を貯めるという機能に関しては、大多数のギグワーカーにおいて、ギグエコノミーが貯蓄する機能を大きく向上させることはできないことが明らかになった。賃貸料、家計費、教育費などでギグワーカーの15%以上が平均5,000ルピーの赤字に苦しんでいる。

政治的自由については、ギグ・エコノミーは、集団的な懸念を表明するための協会や組合の組織化を促す機能を向上させないことが明らかになった。10年前には Uber などのタクシーサービスに従事するギグワーカーたちの要求を表明する組合がデリーに22~23組合あったが、現在はデリーでわずか4つの組合に減少している。団体や組合に代わるものとして、ギグワーカーからの要望や苦情をどのように伝えるかについて、Zomato のギグワーカーにインタビューを行った。その結果、給与を上げるために直接声を上げ、2%の給与アップに成功したのは1名のみであることがわかりました。

社会的自由に関しては、仕事に関するスキルについては、ギグ・エコノミーが仕事に関するスキルをある程度向上させることに成功したと感じているギグワーカーは少なく、大半はそう感じていないことが明らかになった。Zomato のギグワーカーへのインタビューを通じて、3分の1のギグワーカーは仕事に関するスキルが向上したと感じており、3分の2のギグワーカーはそう感じていないことが明らかになった。インタビューで仕事上のスキルアップを認めているギグワーカーによると、知識・スキルの向上には、場所に関する知識と運転技術の2種類があることが明らかになった。まず、ギグ・エコノミーでの仕事を通して、勤務地に関する知識がついたと述べる Zomato のギグワーカーは4人、Uber のドライバーは2人存在した。第二に、ギグ・エコノミーは、ギグワーカーが運転技術を向上させることを可能にします。ギグワーカーに「仕事を通じて最も向上したスキルは何か」と聞いたところ、「運転技術の向上」と答えた人が大半を占めました。

健康に関しては、ギグ・エコノミーは、ギグワーカーを病気などの体調の不調から解放する機能の拡張に寄与していないことが明らかになった。Uber の運転手は労働時間が固定されていないことに苦しみ、1日あたりの労働時間が予想以上に長いために、健康への不調を訴えている。12人のウーバー運転手へのインタビューによると、そのうちの8人が「働くことに予想より多くの時間を費やさなければならない」と主張している。これは主に、ギグワーカーがプラットフォーム上で顧客からの乗車要求を確認する前に、1回の乗車でどれだけの金額が支払われるかを知ることができないためである。したがって、1回の乗車料金が予想より少なかった場合、生

計を立てるのに十分な収入を得るためには、より多くの回数を乗車しなければならない。また、Zomato でも同じことが起こっています。Zomato のギグワーカーは、1 回の配達の手配が固定されていないため、顧客への配達に予想外の時間を費やさなければならず、最終的には過労のために体調を崩してしまうことが本研究によって明らかになった。

またテンプレート分析の結果、健康に関しては精神疾患を分析のための一つの側面として捉える必要があることが明らかになった。ギグワークの特徴として、精神衛生に対する様々な悪影響を与える可能性があることが明らかになった。第一に、ギグ・エコノミーはギグワーカーに時間的なプレッシャーを与える。通常、ギグワーカーは、大都市圏の顧客に商品を配達したり、サービスを提供したりする際に、完了しなければならない特定の時間帯を遵守しなければならない。このルールのために、彼らはタスクを完了するために急がなければならず、彼らの精神的健康に負の影響を及ぼしている。第二に、ギグワーカーの収入は非常に不安定であるためである。彼らの収入は、サービスに対する需要、利用可能なタスクの数、労働者の稼働率など様々な要因によって変化する。さらに、近年ギグワーカー数は増加傾向にあり、ギグワーカー一人当たりの利用可能な仕事数の不確実性を高めている。

情報の自由に関して、情報アクセシビリティについては、ギグ・エコノミーはギグワーカーにおける情報アクセシビリティの機能向上に寄与している。Zomato と Uber のギグワーカーの多くは、デジタルプラットフォーム上でタスクを完了するためのプロセスに関連する情報にアクセスできることが、インタビューを通じて明らかになった。またテンプレート分析の結果、情報の自由に関しては、仕事の業績評価情報を含む必要があることが明らかになった。ギグ・エコノミーでは、通常、顧客がギグワーカーのパフォーマンスを評価する。この評価システムでは、ギグワーカーは、顧客がなぜ最低点または最高点を評価したのかを知ることができない。そのため、ギグワーカーは、顧客から最低点の評価を受けた場合、自分のサービスの何が問題で、どうすれば自分の仕事のパフォーマンスを向上させることができるのかわからない。Uber で働く 3 人のギグワーカーは、たとえ普通のサービスを提供したとしても、評価点が下がり、精神的なストレスにつながっている。

安全の自由のインクルージョンに関しては、ギグ・エコノミーは、社会的地位のない人々の労働への取り込みを促進する上で重要な役割を担っている。インドには、階級線やカーストで分断された社会が残っている。この社会では、仕事へのアクセスや新しいビジネスを始めることに強く関連する構造的な課題がある。しかし、ギグ・エコノミーは、社会やコミュニティから排除されている人たちに働く機会を提供する上で有効である。宗教的少数派や疎外されたグループに属する人々はギグ・エコノミーを利用する傾向があることがわかった。

社会保障に関しては、ギグエコノミーが社会保障にアクセスする機能を拡大することはないことが明らかになった。しかし、ギグワーカーに社会的保護を提供するための取り組みを始めようとする組織もあった。インドでは、ライドヘイリングやフードデリバリーのプラットフォームが、一般市民やプラットフォームからの寄付を通じて、ギグワーカーを支援するための基金を立ち上げていた。またテンプレート分析の結果、安全の自由の中に職業的リスクを含む必要だということが明らかになった。ライドヘイリングサービスやフードデリバリーサービスを提供するギグワーカーが交通事故や暴力的な攻撃、強盗に巻き込まれるリスクが高まっていることが本調査によって明らかになった。

本研究では上記のようなギグ・エコノミーによるギグワーカーへの影響が明らかになった。それに加えて、今までは、ギグ・エコノミーによるギグワーカーや彼らの労働状況への影響をフレームワークを用いた分析手法はなかったが、上記のフレームワークを開発したことにより、体系的にギグ・エコノミーを分析することが可能になった。さらに、今回開発したフレームワークを用いて、彼らの労働状況が明らかにすることができるようになったため、アカデミックの世界からプラットフォームに対して労働状況の改善のための提言を今後することができるようになったのは本研究の大きな成果である。

期待された効果と実際の相違点

本来は 2021 年 12 月から 1 月にかけて、第一回目の実証研究をインドで行う予定であった。本来であれば信頼性のあるサンプル数を確保するために、デリーやコルカタのほかにも、他の都市を含んだ実証研究を行う予定であったが、2021 年 12 月にコロナウイルスの流行により、多くの都市部での実証研究を行うことが困難になってしまった。12 月に現地での第一次情報が手に入らなかったため、第二次情報だけをもとにケイパビリティフレームワークの試作を開発することになってしまった。12 月に第一次情報をもとにケイパビリティフレームワークの試作を作れなかったため、作れた場合にどのような結果になったかはわからないが、少なくとも 8 月にインドで実証実験を行う前に、もう少しインドのギグエコノミーのギグワーカーへの影響を包括的に分析できるフレームワークができたのではないかと考えている。

調査・研究成果の持続発展性

本研究では、インドのケーススタディとして本研究で開発したフレームワークを用いたが、他の開発途上国のギグ・エコノミーを分析する際にも本研究で開発されたフレームワークを用いることができる。近年、ギグ・エコノミーは ICT の急速な普及により、先進国だけでなく途上国でも広がっている。途上国では、ギグ・エコノミーで働く人は 3,000~4,000 万人と推定され、その成長率は年率 30%程度と言われている。このように途上国でギグ・エコノミーが成長していることから、開発実務者、政策立案者はギグエコノミーを社会経済開発の推進力として期待している。このようなギグ・エコノミーの関心の高さから、今後も本研究で開発されたフレームワークをもとにしたギグ・エコノミーのギグワーカーへの影響を分析する研究は持続されることが考えられる。また、今回の研究で、私がセンのケイパビリティフレームワークをギグ・エコノミーの分析のためのフレームワークに発展させたように、今回の研究で開発されたギグエコノミーを分析するためのフレームワークも他の研究で用いられることでさらに発展していく可能性がある。

苦勞した点、反省点、本活動を通じて得られたこと、 学んだこと、教訓等

今回の研究を通して苦勞した点は主に三つある。一つ目は研究を進めるにあたりコロナウイルスの感染拡大による影響を受け、本来予定していた研究スケジュール通りにいかなかったことである。そのために現地で研究に協力してくれる予定になっていた方々と研究スケジュールの調整にかなり苦勞した。現地で協力してくれた元同僚の他にもマンチェスター大学のグローバル開発研究所の Heeks 教授との意見交換会や研究の中間発表の日程調整などがコロナウイルスの感染拡大によって全体的にスケジュールが狂ってしまい、迷惑をかけてしまった。コロナウイルスの拡大のような、予想しにくいことがあったとして、研究スケジュールに余裕を持たせた構成するべきでだった。二つ目は現地でスノーボールサンプリング手法を用いて、目標とするサンプル数のインタビューアーを確保するのに、想定していたよりも苦勞した。一人目のインタビューアーを見つけて、次のインタビューアーを紹介してもらい、二人目にインタビューするといったプロセスは効率的なやり方ではなかったと反省している。ギグワーカーが多く集まりそうな場所を前もって、現地の知人に教えてもらい、その場所で目標人数のインタビューを行った方が効率的であった。三つ目は、インタビューで得られた質的データをテンプレート分析を用いて分析するのに想定以上に苦勞した。インタビューをしながら多くのインタビューアーがどのテーマの話しをしているか、分類していく作業が大変であった。

本活動によって、ギグ・エコノミーによるギグワーカーへの影響を体系的に分析するフレームワークを開発することができただけでなく、ギグワーカーに直接インタビューを行うことによって、彼らの生活がいかに不安定であるかを知ることができた。さらに実際にギグワーカーの方々から、今回の研究結果を元に現在の労働状況を改善してほしいとの願いをされたことにより、今後の自身のギグ・エコノミー研究のモチベーションを高めることができた。

ご自身の今後のプラン、及び本活動の活用予定・計画

私は 10 月から国際連合人間居住計画にてケニア、ナイロビの都市開発事業に携わっていく予定である。今回の研究ではギグ・エコノミーのギグワーカーへの影響を分析するフレームワークを開発し、インドで実証研究を行った。今回開発したフレームワークが都市部のギグワーカーの就労状況を分析するのに役に立つことがわかったので、今度はナイロビで働くギグワーカーの労働状況を分析する予定である。分析した結果をもとに、ナイロビのような都市部でのギグ・エコノミーによる就労機会の拡大を促すプロジェクトを行なっていくだけではなく、住みやすい都市を作り出すべくケニアのプラットフォーマーに対しての提言なども行なっていく所存である。そして二、三年間、国際連合人間居住計画都市開発事業に携わった後に、オックスフォード大学のインターネット研究所にて、ギグ・エコノミーの研究をさらに発展させるために Ph.D 課程に進学する予定である。今回の研究で開発したフレームワークを他の途上国の文脈でギグ・エコノミーの影響を扱う研究にも応用していく予定である。別のコンテキストにおけるギグ・エコノミーのインパクトを見つけ出し、本研究と今後の研究の結果を比較することによって、ギグ・エコノミーのインパクトを総合的に分析する予定である。